

# 書窓

## Shoso

No.435

2021.8

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鰯

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

### 子どもの本だな 93

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

#### ババールのしんこんりょう

ジャン・ド・ブリュノフ さく  
やがわ すみこ やく (評論社)

ぞうの王様ババールとおきさきのセレストは、気球に乗って新婚旅行に出かけました。ところが嵐に巻きこまれ、気球は島に不時着。襲ってきた原住民たちと戦ったあと、出会ったくじらに頼んで背に乗せてもらい島を脱出しました。途中、食事に行つたくじらが戻らず、2人は小さな岩に置き去りにされてしまいました。通りかかった大きな船に助けられましたが、着いた港に猛獣使いがやって来て、2人はサーカスへ入れられてしまいました。その頃、ぞうの国では、さいの国から戦争をしかけられ、大変なことになっていました…。

『ぞうのババール』シリーズの2巻目。楽しいはずの新婚旅行先で、はらはらする出来事が次々に起こり、その度にババールたちは力を合わせて乗り越えていきます。色鮮やかな絵は、ユーモアあふれるお話と良く合っています。無事国に帰ってきたババールが、うまい計略でさいたちを驚かせる様子は愉快です。読んでもらえば4歳くらいから。(池之上)

#### ネコのタクシー

南部 和也 さく さとう あや え (福音館書店)

ネコのトムは、ランスさんの飼い猫です。ある日、タクシードライバーのランスさんが足の骨を折りました。トムは、ネコ専用の小さなタクシーを作ってもらい、ランスさんの代わりに働くことにしました。エンジンはなく、トムが自分の足で走るのです。ところがネコのお客の代金は、コルク栓、死んだネズミ、消しゴムなど。これではランスさんの役に立ちません。ある日、お客に代金はお金がいいと言うと、1ポンド硬貨を拾ってきてくれました。ネコは、お金を持っていなくても、落ちている所は知っているのです。それからトムはタクシーに「1ポンド」と書き、お金を稼げるようになりました。トムのタクシーは、けがをした子ネコを病院へ運んだり、道に迷ったおばあさんネコを送り届けたりと大活躍。銀行強盗の逮捕にも一役買って、警察から表彰されました。

足で走るタクシーという発想がユーモラス。素直で元気いっばいのトムに好感がもてます。続編に『ネコのタクシーアフリカへ行く』があります。読んでもらえば5～6歳から。(池田)

8月	9月	8・9月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
5日	2日	塚森 地域内 10:30～ 10:50	沖代 地域内 11:00～ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30～ 14:50	米田 公会堂 15:00～ 15:20	竹広南 公民館 15:30～ 15:50
12日	9日			原池団地 公民館 15:00～ 15:20	山田 掲示板前 15:30～ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00～16:20
19日	16日	広坂 公民館 10:30～ 10:50	上太田 公民館 11:00～ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30～ 15:50	吉福 公民館 16:00～ 16:20

#### <お知らせ> 夏休み特別 おはなしの夕べ

夏休みの夕方、ろうそくの灯をともした部屋で、おはなしを聞いてみませんか。「ミアッカどん」「七わのからす」「エルマーのぼうけん」などを予定しています。(要申込)

#### ・日時：8月20日(金)

- ①4歳以上～大人 18:00～
- ②小学高学年～大人 18:30～

#### ・申込：太子町立図書館

※途中からは入れませんので、時間までにお越しください。

※8月の定例の「絵本の時間」「おはなしの時間」はお休みです。

『WHAT IS LIFE? (ホワット・イズ・ライフ?) 生命とは何か』 ポール・ナース 著

竹内 薫 訳    ダイヤモンド社    269 頁    2021 年 3 月刊    1,870 円 (請求記号) 461

「生命とは何か」という問いに明確な答えはない。新しい発見がある度に、その考え方は変化し、発展し続けている。本書は「細胞」「遺伝子」「自然淘汰による進化」「化学としての生命」「情報としての生命」の5つの考え方において、その歴史と最新の知見を記し、それらの考え方がなぜ重要なのか、互いにどう関わり、発展しているのかを示しつつ、生命の意味を探ろうとしている。内容は理論だけでなく、著者自らの体験や学びの中で得た生命への驚嘆や発見の喜びが随所に織り込まれ、読者の理解と共感を誘う。

1839年に細胞説が誕生し、あらゆる生命体は本質的に似たパーツ細胞でできていることが明確にされた後、細胞は環境との境界を持ち、単体で独立した構造・機能を持つ生命単位であること、分裂によってのみ繁殖し、成長・持続・繁殖のための遺伝子情報が引き継がれていくことがわかった。これらは生命が神の産物ではなく、化学物質であることを私たちに理解させた偉大な発見だ。生命を理解するにつれ、ひとは生き物を操作して変える大きな力を得た。その力は、これまでに遺伝子組換えによる食糧改革、病気の治療、感染症のワクチン開発などに利用されている。今後はどうだろう。遺伝子操作でひとを生病老苦から開放するのか？地球温暖化解決のために、操作改変した植物を地球に植え付けることは実行するべきなのか？ひとは世界を変えられる。すべての世代の生態系にとってよりよい世界にするために何をすべきか、私たちは慎重に科学的に考えなければならぬ。

著者を生物学の世界へと導いたのは1匹の蝶だ。その姿は自分と違うようであり、まぎれもなく目的に向かって生きていくように見えた。いま地球上にある生命体の始まりはひとつ。まさに蝶と私たちは遡れば最古の果てへと繋がる同じ家系の子孫たちだ。「それを知る唯一の存在である人間は、地球の生命に対して特別な責任を負っている。われわれは生命を慈しみ、世話をしなければならぬ。そのために、生命を理解する必要がある」とこの本は結ばれている。

(秋澤)

8月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	<del>3</del>	4	5	6	7
8	9	<del>10</del>	<del>11</del>	12	13	14
15	16	<del>17</del>	18	19	20	21
22	23	<del>24</del>	25	26	27	28
29	<del>30</del>	<del>31</del>				

9月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	<del>7</del>	8	9	10	11
12	13	<del>14</del>	15	16	17	18
19	20	<del>21</del>	<del>22</del>	23	<del>24</del>	25
26	27	<del>28</del>	29	<del>30</del>		

- \* ×印は休館日 (閉館時は返却ポストをご利用ください。)  
(8/11、9/22、9/24 は祝日の振替、8/30、9/30 は館内整理日)
- \* 開館時間は 10:00~18:00、金曜日は 20:00 まで開館

<お知らせ>

\* 13 歳からの読書会 \*

『時の旅人』を読んで

(アリソン・アトリー 作 岩波書店)

- ・日時: 8月8日(日)  
14:00~15:30
- ・場所: 太子町立文化会館 会議室
- ・対象: 中学生以上 (要申込)
- ・準備: 当日までに本を読んでください。
- ・申込: 太子町立図書館

※詳しくは太子町立図書館まで。  
または、図書館ホームページをご覧ください。

地下水

P・G・ウッドハウスのジーヴズ・シリーズが図書館に入る度、Kさんが「笑い転げるの」と喜んで借りておられた。その評価に誘われ読んでみたが、どこで笑えるのかわからないまま本を閉じてしまった。同著者の新刊本『ボドキン家の強運』が入り、図書館に来られなくなつて10年は経つであろうKさんを持ち出したながら、この本はどんなだろうと持ち帰った。直前に読んでいた本が、1960年代アメリカで、無実の罪で少年院に入れられた黒人少年を主人公にした小説『ニッケル・ボーイズ』だったこともあり、読み始めると、これが同じ人間の世界かと戸惑う。主人公が、手紙を書こうとするが、「坐骨神経痛」という字がわからない。日本語なら、漢字が駄目でも平仮名でも表現できるのに、英語は音が出せても綴りに結びつかないのか...と思っているうちに眠気がくる。叔母の遺産で暮らす主人公は、婚約者の父親に、稼がない男は認めないと言われ、千ポンドで私立探偵の助手ということにしてみらっている。そんなお金の遣い方!と、本を閉じる。

『ニッケル・ボーイズ』が残したずっしりとしたものがあるうちはウッドハウスは無理かと思ひ、『ファーブル先生の昆虫教室』と『六月のゆり』を新たに持ち帰った。読む順番が違っていれば素直に楽しめたのだろうか?いつかの楽しみのためにもうしばらく時間を過ごそう。

(竹内)